

パネリスト：西川彰則氏（和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部部長、WIDA 幹事）
パネリスト：児玉典男氏（観音山フルーツガーデン/観音山フルーツパーラー代表取締役
会長）

パネリスト：大西 剛氏（株式会社オークワ情報管理部 部長）

コーディネータ：水間乙允氏（サイバーリンクス執行役員 最高技術責任者）

参加者数：51 名。終了後、収録した映像をもとに会員向けに動画配信を行った。

(3) 後援等

・「地域のお悩み×ICT ソリューションマッチング会 2021」の共催

日時：2021 年 12 月 2 日（木）

場所：大阪合同庁舎 1 号館 第 1 別館 2 階 大会議室

主催：近畿総合通信局、近畿情報通信協議会

3 調査研究活動

(1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等を行う。

部会長：満田 成紀（和歌山大学戦略情報室教授）

1) 学習会の開催「行政デジタル化を推進する市町村・企業の取り組み」

日時：2021 年 11 月 15 日（月）13:30~15:30

場所：ハイブリッド配信（会場およびオンライン配信併用）にて開催

会場：和歌山県民文化会館 6 階 特別会議室 B（和歌山市小松原通り 1-1）

内容：

① 講演（60 分）

「国が描く地方行政のデジタル化」

講師：上原哲太郎氏（立命館大学 情報理工学部情報システム学科 教授）

② パネルディスカッション（80 分）

パネリスト：上原哲太郎氏

パネリスト：水間乙允氏（サイバーリンクス執行役員 最高技術責任者）

パネリスト：青野諒氏（和歌山県総務部総務管理局 市町村課 課長）

コーディネータ：満田成紀氏

参加者数：81 名、終了後、収録した映像をもとに会員向けに動画配信を行った。

2) 「2022 WAKKA-THON」開催企画

日時：2022 年 2 月 11 日（金）～13 日（日）

場所：INNOVATION SPRINGS（クオリティソフト敷地内）

概要：和歌山県の「暮らし／文化／産業」と「ICT」にフォーカスし、
それらが抱える様々な課題の解決策を考えることを目的とする。

事業概要：エンジニア、デザイナー、プランナー、マーケターなどが
チームを作り、それぞれの技術やアイデアを持ち寄り、2泊3
日で和歌山県内の課題解決に挑戦し、サービスやアイデア、ア
プリケーション開発などの成果を競うハッカソンの実施。

→新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催延期とし、2022
年夏をめどに実施を検討することとした。



(2) 教育 ICT 研究部会：教育分野の ICT 利活用の研究等を行う。

部会長：佐藤 周（和歌山大学名誉教授）

GIGA スクール構想に伴って小学校、中学校、高校に配布された端末のネットワーク接続につい
て、一部市町村や県教育委員会より課題があるとの相談が寄せられたため、紀南の 3 町（すさみ

町、串本町、古座川町)の教育委員会にヒアリングを行った。また、次年度の活動に向けて、県教育委員会と協議を行った。具体的な活動には至っていないが、次年度の勉強会等の企画に向け、さらに調整する。

- (3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等を行う。そのほか、臨時災害放送局サポーターの募集・登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す。

部会長：伊藤 宏（和歌山信愛女子短期大学副学長）

本年度の防災研究部会の活動は、主として 2020 年度の JR 西日本あんしん社会財団の助成を受けて、2020 年度に実施できなかったものを 2021 年 9 月末まで延期して行ったものである。

1) 臨時災害放送局設置運営訓練と可聴域調査

みなべ町およびみなべ高校で 2021 年 2 月に臨時災害放送局設置運営訓練を実施準備し、直前に中止となったものを、2021 年度に行うべく調整行っていたが、実施に至らなかった。

その代わりにみなべ町において、WIDA 近畿総通局放送課が可聴域調査を 2 日間にわたって実施した。訓練は実施できなかったが放送事業者、地元新聞社など地域内で情報共有の役割を担う関係者と交流することができた。

また、2021 年 10 月 20 日～21 日にすさみ町で、10 月 21 日～22 日には串本町において、それぞれ近畿総合通信局に協力して可聴域調査を実施した。調査結果は両町に報告され、今後の臨災局設置時の情報伝達に利用される。

2020 年度の JR 西日本あんしん社会財団の助成のうち、残念ながら実施できなかった事業に相当する助成金 (556,187 円) は返還した。

2) 「臨時災害放送局サポーター」の募集・登録

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災害放送局サポーター」募集を 2016 年に開始、現在も募集継続中。

開始時期：2016 年 4 月 21 日 (木)～(継続中)

2022 年 3 月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 31 人 (うち県内登録者数 16 人)

内訳：無線従事者 23 人 (第一級陸上無線技術士 19 人、第二級陸上無線技術士 4 人)

情報ボランティア 8 人

4 情報提供活動

- (1) 協議会ウェブサイト (<https://wida.jp/>) の管理・運営。

協議会の活動の告知、報告ページの作成等を随時行った。

- (2) メールマガジンの配信

希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月 1 回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。

- (3) SNS を利用した広報および会員の交流促進

Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。Twitter でも同内容を同時配信。

<https://www.facebook.com/wida.jp>

https://twitter.com/info_wida

- (4) 協議会の活動を動画配信 (会員限定)

・わかやま地域情報化フォーラム等で撮影・編集した動画などを保存・配信



5 その他

- (1) 和歌山県警察本部（サイバー犯罪対策課）の広報活動に協力
サイバー犯罪等に関する情報提供内容を随時メールマガジンでの告知またはWIDA ウェブサイトに掲載し、広報活動に協力した。
- (2) 近畿情報通信協議会、近畿情報通信関係団体連携促進会議への協力
近畿情報通信関係団体連携促進会議に参加：2021年6月29日（火）：オンライン会議
- (3) 近畿総合通信局事業への協力
近畿総合通信局より臨災局開設に関するセミナーを開催したいので協力して欲しいとの依頼があり、その実施に向けて、企画、会場設営、ネット配信についての協議を行った。残念ながら新型コロナウイルスのために年度内の実施には至らなかったが、次年度に実施される場合には引き続き協力することとしている。
- (4) 新型コロナウイルスの影響
2021年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、残念ながら予定の活動ができなかったり、活動が制限されたりした。

以上